

富山市総合計画審議会第2回潤い部会 概要

場所：富山市役所議会棟7階 第2委員会室

日時：平成23年10月21日（金）

10：00～11：00

1 開会

2 部会長あいさつ

・本日は、第1回潤い部会で出された各委員からの意見に基づき、事務局で作成した対応（案）について意見を伺い、第1回協働部会での議論を踏まえて、総合計画後期基本計画の策定に向け、議論を尽くしていきたい。

3 議事

・富山市総合計画後期基本計画（案）についての意見と対応（案）について

<概要>

（部会長） まず、配付された資料について説明をお願いしたい。

（事務局） 資料について説明

（委員） 数値指標は整合がとれているのか。国ではマクロ的な視点を踏まえて整合を図っているが、数値目標を設定する際に全体的な整合を図る必要があるのではないか。

（事務局） マクロ的な視点は入れていないものの、県の総合計画の指標との整合をとっているほか、個別事業計画との整合や数値目標が確定していない指標の確認を行っている。人口減少社会を踏まえて検討したい。

（委員） 市として、オフセット・クレジット制度を活用した森林整備に取り組んでいるが、販売の進捗状況はどうなっているのか。官民一体で進めていくべきである。

（事務局） 全体計画では4,800トンのCO2吸収量をクレジット化していくものである。アンケートで興味を示した企業について販売促進に取り組んでいるが、企業のイメージアップに資する部分が多い事業であるため、東日本大震災等の影響でなかなか進んでいない。

（委員） 観光客など富山を訪れる人々の視点で「潤い」を考えることが重要であり、

本市の特長をこうした視点を踏まえて考えていくことが大切である。

(部会長) 総合計画は全体的な計画であるため、個別事業計画の中で示していくことがよいと思う。

(事務局) 来年度、観光振興ビジョンを改訂するので、その中で盛り込んでいきたい。

(委員) 51頁の成果重視のまちづくりについて、5年間のPDCAサイクルは長すぎるのではないかと。1年毎の見直しをどのように5年間の計画の中に活かしていくかという仕組みを記載できないか。

アウトプットの指標が多いので、アウトカムの指標を入れることはできないものか。

(事務局) PDCAサイクルについて、実際に事業を進めていく中で意識していくことが大事だというご指摘だと思うので、しっかりやっていきたい。

指標の見直しの中で、アウトカムの指標を入れることができるものは入れていきたい。

(委員) 東日本大震災を受けて原子力発電所の問題が重要であると思うが、どのように考えているのか。

(事務局) 国では災害対策基本法の見直しに伴い防災基本計画の見直しを進めており、それを受けて県で防災計画が見直され、市もこれを受けて見直しを行うことになる。

(委員) 北陸新幹線の新駅が設置される3市が連携して富山の魅力をPRしていくことが重要である。

(委員) ①富山は移動率がかなり低いいため、外の人々の意見を聞く機会を設けることが必要である。具体的には、誘致企業を訪問して、意見や要望の聞き取りを行う取り組みなどは今後も進めていくべきであり、観光客の意見を聞く取り組みを行うべきである。

②富山の特色は、雨、雪が多いことであり、交通弱者や旅行者には負担である。公園にドームを設けるなど雨(雪)対策を行うべきである。

③ソフト事業について、例えば3つのプロスポーツチームをまとめ、将来のファン層となる子供達を呼ぶことが必要ではないか。

④ライトレールのベンチへの寄附などはよい取り組みだと思う。地元の人々が愛着を持ち、来街者はリピーターになるのではないかと。寄附をもっと戦略的に活用してはどうか。

(部会長) 今後、第 2 回協働部会が予定されており、本日の意見を報告することとしたい。また、答申案について、潤い部会に関して部会長に一任していただきたい。

4 閉会

(以上)